

語り部だより

授業風景

カナダミュージアム バーチャルツアーで 交流

1月最初の授業は、三尾とカナダを繋いでのオンライン・カナダミュージアムツアーでした。



参加者たちとの記念撮影 2021.1.10

国内外のカナダ移民というワードで繋がった様々な人々が、ZOOMを使って一堂に会する壮大なイベントです。そんな中、語り部ジュニア



この日、成人を迎えた栗林さんは晴れ着姿で参加！

ニアは15分の枠をもらい、英語で自分たちの活動内容を発表しました。

オンライン交流というものの自体が新しく、いきなり世界に開かれた大舞台で、しかも英語での発表。さすが緊張するだろうという心配をよそに、ジュニアたちは三尾の紹介や自分たちが普段どういった活動をしているのかを、堂々と画面の向こうの人達に話しました。

画面の向こうでは、日本やカナダの大学で移民の研究をされている先生方や日系ブレイスの館長さんをはじめ、三尾にルーツを持つ日

発行

NPO法人
日ノ岬・アメリカ村
語り部部会
Let's KATARIBE
〒644-0045
美浜町三尾778
旧三尾小学校内
TEL: 0738-20-9015
URL: americamura.wakayama.jp

系三世や四世の方々など、普段の生活の中では会うことができない人達が沢山聞かれています。

それぞれの立場で移民の歴史に価値を感じ保存に力を注いでいる方たちに混じり、若い世代もこのように学んでいるということを知ってもらって素晴らしい機会になったと思います。

報告 出石

大三尾への フィールドワーク

1月31日は、大三尾をまわりました。

大正元年に作られたという堤防と台風被害により2度にわたり作られた現在の堤防、そして製塩遺跡(塩を作った跡)や工野儀兵衛翁の生家を紹介。三尾は「風早(かきはや)の」と言われるように、風がきつく、台風を通り道でもありません。大三尾が一望できる



高台からの眺めに、みんな感動！

高台からは、民家の屋根が漆喰で固められている理由を感じ取ってもらいました。今回のジュニアたちの口からは「ケリーののおぼあちゃんのお家寄れて良かった」と感想が出ていました。

報告 三尾

岡本 亜樹 (中学2年生)

美浜町の松洋中学校に来て、「三尾」という所があると知り、三尾について知りたいと思い、この語り部ジュニアに参加しました。

自分が学んだことを、日本の人にも外国の人にも伝えられるように頑張りたいと思います。

よろしくお祈いします。

語り部ジュニア自己紹介

祭本 知里 (中学1年生)

私がこの活動に参加した理由は、姉がこの活動をしているのを見て、楽しそうだったからです。

その他にも、三尾について勉強してみたいと思ったからです。

これからもたくさんの体験などをして、三尾のことについてもっと知りたいと思っています。

よろしくお祈いします。

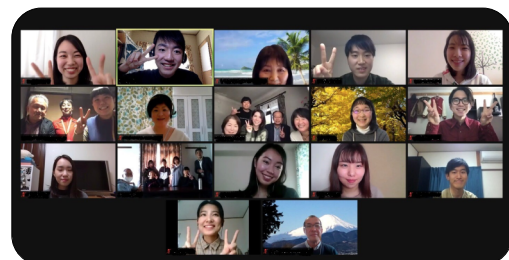
東大生 京都外大生 & KATARIBE オンライン交流 第二弾！

2月14日は、カナダミュージアムにおいて、東大生や京都外大生とのオンライン交流を持ちました。

今回も、東大生であり、三尾区の親善大使でもある岩永淳志君が企画してくれました。

ジュニアたちは、前回と違い、緊張感も解けたよう

で、地元のお祭りを紹介するなど楽しそうに和気あいあいと話合っていました。今回は講師陣も参加し、



みんなで記念撮影。3台のパソコンで3組に分かれ、交流を持ちました。

小三尾への フィールドワーク

2月28日は、小三尾をまわりました。

小山甚藏追思碑や洋館の名残のあるI氏邸を紹介。

逢母では、空襲により21戸が焼失し、犠牲者も出たこと。基礎だけ残ったベースメント跡は、その時の名残であること。磯辺では、磯や浜で火を焚き、船で沖を通る移民者を見送ったことを。三尾の小路は、昔よりコンクリートで整備されており、移民者による寄付が大きいことを説明。

三尾は、小さい地区ではありますが、色々な歴史が詰まっていることを伝えました。 報告 三尾



当時、空襲の光景を見た方の手記を読み上げ、説明。

オリジナル朝日軍 ストーリーを翻訳中!!

ジュニアたちは今、朝日ベースボールチームの歴史に関する英文を日本語に翻訳しています。

現在の新朝日軍は、戦前バンクーバーで大活躍した朝日軍の功績を継承し、若い世代に野球を通じて様々な人々と交流する機会を提供することを目的に結成されました。

日本カナダ商工会議所会頭でこの新朝日軍の創設者の一人でもあるサミー高橋さんにご縁をいただき、一

期生は一昨年のカナダ訪問中に交流をしてみました。完成した翻訳文は、朝日ベースボールのウェブサイトに掲載されます。中学生には少し難しい課題ですが、わからない言葉を辞書で引いたり、インターネットで調べながら少しずつ作り上げるという作業を通じ、単に翻訳という作業を経験するだけでなく、日本とカナダの新しい絆を作っているように感じます。

次回の日本遠征時に三尾で交流できるのを楽しみにしています。 報告 出石

NEWS

初回の昨年12月28日には、和泉真澄先生(同志社大学グローバル地域

公開オンライン講座「移民 でつながる VOL.1」

和歌山アメリカ村 CANADA MUSEUM 公開オンライン講座が始まりました。これは、前号でも紹介したように、研究者による「研究成果の地域への還元」などを目的としています。

公開オンライン講座「移民 でつながる VOL.2」

2月27日に行われました。当NPO法人の理事でもある安藤妃史さんが「身内から見た三尾カナダ移民」

三尾の自慢・見どころ紹介 ウミネコ

3月も半ば頃になると、海辺では「ミャー ミャー」と鳴き声が聞こえ始めるようになります。

ウミネコが海猫島に集まり始めるのは、3月頃からで、産卵と育雛を終え、7月末頃より離島していきます。子どもたちは、それまでに親から飛び方やエサの取り方を学びます。

英名ではBlack-tailed gullと言われ、尾羽の黒帯も特徴的です。

かつては、2000羽を超える年もあったようですが、産卵区域に人が入ったことで一時は減少。最近ではトンビによる被害もあるせいか、飛来数は減ってます。

いつまでも、やって来てもらいたいものですね。



特徴は、くちばしの先端に黒い点があること、黄色い虹彩と周りに赤いアイリングがあること。また、



幼鳥の毛は褐色ですが、成長になるにつれ生え変わります。

編集後記

やはり、報告事項満載です！

コロナ禍ではありますが、色々な方のご協力やご縁で、語り部ジュニアの活動も前進しています。感謝致しております。

発行が遅れた分、取り戻します！

今回は、紙面の都合上、「講師自己紹介」は割愛させて頂きました。